

授業の様子

今回の授業では事前にテキストへ練習したあて名や本文をかもめ～るへ清書しました。手紙やはがきを書く時は「気持ちをこめて」「ていねいに」と先生からの指導もあり、児童は一生懸命気持ちをこめてはがきを作成していました。

テキストの練習では文章だけだったものを、児童たちは内容に応じて絵を描いたり色をつけたりしてオリジナリティ溢れる素敵なはがきに仕上げました。

先生の感想

本物のはがきを教材として使用できることが有難いと思いました。



授業の様子

はがきの裏面に書く、書き出し・本文・結びについて授業をしました。まず「書き出し」とは何かを確認したあと、自分で相手に合った書き出しを考えテキストに書き、さらにそれを黒板へ書きました。

書き出しの文章が季節のあいさつであることや、文例を見ながらそれぞれが思い思いの文を書いていました。テキストの罫線に合わせて小さい文字もきれいに書くことができていました。

次の時間に本物のはがきに清書をするということでした。

先生の感想

夏休みになると暑中見舞いを送ってくれる児童が多く、内容も充実しており、一生懸命書いたはがきを見ると「手紙の書き方体験授業」は意味のある活動だと感じています。



授業の様子

最初に夏のお便り補助教材を使って、P2で暑中見舞いや残暑見舞いについて学びました。

次に、かもめ～るの画像を見て、くじ番号を「この番号ってなんだろう？」と疑問に思ったり、スイカや花火の柄があることなど気付いたことをなんでもメモをして、みんなで発表しました。

授業の後半は、実際にかもめ～るを配り、ちぎり絵による夏のお便りづくりに挑戦。先生が教卓でスイカのちぎり絵づくりの見本を示したあと、子どもたちは思い思いに夏のイメージを考えながらちぎり絵づくりに取り組みました。

先生の感想

既に手紙の書き方テキストを使って授業を実施済みで、一度書いているのでどの児童も良く書けていました。続けて書かせることで、手紙を書く楽しさが段々分かってきたと思います。

